

電 力 情 報

NO. 26

平成 26 年 7 月 29 日

東 北 電 力 (株)

6 月分の電力需給実績について

1. 電力需要について（表 - 1 参照）

6 月分の販売電力量は、57 億 4,500 万 kWh、対前年比 99.8% の実績となりました。東日本大震災からの復興の動きが続いているものの、節電への取り組みなどから、2 カ月連続で前年実績を下回りました。

用途別の実績については、以下のとおりです。

○ 特定規模需要以外の需要（自由化対象以外のお客さま）

電灯は、東日本大震災からの復興の動きはあるものの、節電への取り組みなどから、対前年比 98.7% の実績となり、2 カ月連続で前年実績を下回りました。

特定規模需要以外の需要の合計では、対前年比 98.6% の実績となりました。

○ 特定規模需要（自由化対象のお客さま）

業務用電力は、需要回復の動きが続いていることなどから、対前年比 100.9% の実績となりました。

特定規模需要の合計では、対前年比 100.4% の実績となりました。

なお、産業用その他電力については、大口電力が大きなウエートを占めており、その概要は以下の参考のとおりです。

[参 考]

○ 大口電力

大口電力は、復興需要による高操業の動きが続いているものの、一部での生産減や自家発の稼働影響などから、対前年比 100.1% と、前年並みの実績となりました。

2．供給力について（表 - 2 参照）

6月の発受電電力量の合計は、63億3,300万kWh、対前年比99.9%と、前年並みの実績となりました。

（自社水力）

出水率115.1%の豊水となったことや、新潟・福島豪雨により停止していた発電所の運転再開により、発電量は前年を1億5,600万kWh上回る8億2,500万kWhとなりました。

（自社火力）

他社火力からの受電量の減少などにより、発電量は前年を1億8,300万kWh上回る43億5,300万kWhとなりました。

（自社原子力）

定期検査により、女川原子力発電所の全号機と東通原子力発電所1号機が運転を停止していることから、発電量はありませんでした。

（自社新エネルギー等）

地熱発電所の運転状況の違いなどから、発電量は前年を600万kWh上回る6,400万kWhとなりました。

（他社受電）

他社火力の運転状況の違いなどから、他社受電合計では前年を3億9,000万kWh下回る17億4,800万kWhとなりました。

以 上